

Life・Culture & Welfare 地域から発信 福祉を文化へ

# 焼津福文共通信第63号

「焼津福祉文化共創研究会」事務局

〒425-0044 焼津市石津向町 15-17

百の木デイサービス石津内

Tel.: 054-623-3665 Fax.: 054-656-3731

編集委員 望月隆仁 河野恵介 原崎洋一 原崎幸子 平田厚

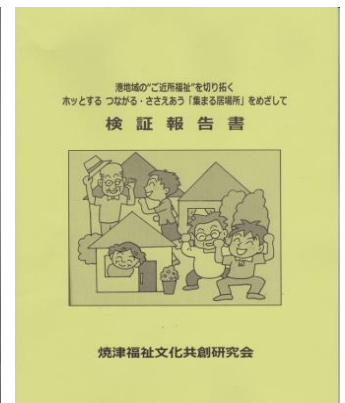
## 今年度の活動テーマ

「活動5年間の調査研究事業の実績から“ご近所福祉”を検証する」  
●令和元年度(1年目)「地域ぐるみの居場所を検証」を振り返る

今年度は、「活動5年間の調査研究事業実績から、“ご近所福祉”を検証する。」を活動テーマに掲げ、これまでの活動を振り返りながら、地域の課題を改めて確認することとして、毎月の定例研究会で、議論をしている。平成28年度から平成30年度まで開講した「港地域ささえあい講座」から、立ち上げた「焼津福祉文化共創研究会」の1年目の活動は、

### ●令和元年度「地域ぐるみの居場所検証」に取り組む

本会結成初年度は、「居場所」を議論しながら、集める居場所ではなく、集まる居場所を呼び掛けた。そして、尊い市民の赤い羽根共同募金「赤い羽根助成事業」と静岡県コミュニティづくり推進協議会の「コミュニティ活動集団事業助成事業」により、港地域づくり推進会管内の「集まる居場所調査」に取り組み、55の団体を把握し「活動グループ紹介冊子」と「港地域の“ご近所福祉”を切り拓く ホットする、つながる・ささえあう集まる居場所検証報告書」にまとめ、「公開型研修会(調査報告会)」を開催した。



この時に、提言としてまとめた内容をもとに、10月定例研究会(10/12開催)で、現状を話し合った。

- \*「地縁組織」で、地域課題をすべてを解決できる社会ではない。さまざまな「志縁組織」と『協働』で取り組む(「行政」「社協」「市民」)心掛けを常にもちたい。
- \*「専門性と市民性の融合」を基本とする地域づくりの取り組み。
- \*高齢者自身も、地域参加する環境づくりに心掛けて、高齢者の意見を引き出すこと。
- \*難しい福祉専門用語ではなく、わかりやすい表現をしてなじみをつくる。
- \*「調査研究活動」を単発で終わらせない 継続的に取り組む努力。 ➡本会は、5年間の実績あり
- \*地域に存在する各種団体を「見える化」していく仕組みをつくり、相互理解に努める。
- \*管内の地域課題を浮き彫りにし、だれもが役割分担をもって、地域参加する環境づくりを呼び掛ける。
- \*管内の各種団体が連携して、情報を共有できる情報発信の工夫をしていく。
- \*今日、「居場所」論議が積極的に行われているが、「なぜ、居場所なのか」の原点をしっかりと捉え、更には「集める居場所」ではなく「集まる居場所」を実現する努力をしていく。

キーワード	心境	場所	自発性	主役	人数	ルール	組織関係	相性	開催
集める居場所	建前	公的	誘われ従う	関係者支援者	大勢	あり	あり	無視	月1回程度
集まる居場所	本音	私的	自発的積極的	本人仲間	4~5名程度	なし自発的	なし対等	大切	ほぼ毎日

●「この頃のご近所を語る」の意見交換の概要

- ①最近、近所に救急車が来ても、あまり気にする様子が見られなくなった。
- ②高齢者世帯周辺に、小学生の出入りがあれば、間接的に地域を知ることが出来るが、子どもが成長するにしたがい、ご近所の話題は伝わらない。
- ③何気ない、日常的な挨拶ができれば話題が広がりご近所の動きが見える。日頃の付き合いの工夫(いかに、共通の話題を出せるかの難しさ)
- ④役員交代後、基本的運営が維持される「町内会運営マニュアル」がほしい。
- ⑤ご近所内のコミュニケーションの取りにくさがある。(距離感、世代の差)
- ⑥近所づきあいの希薄化と終活のあり方(家族への負担をなくす)を気にする。道端の雑草も花瓶に生けると・・・



共創社会実現研究会経過報告 ⑦

本会と協働で取り組んでいる「静岡福祉文化を考える会」が、今年度「赤い羽根共同募金地域福祉支援活動(広域団体)助成事業:若者発ご近所福祉かるたによるご近所福祉検証事業」に取り組むに当たり設置した「共創社会実現研究会」の取り組みを紹介している。

今回は、「かるた及びかるた活用事例集」配布後、各方面から寄せられている意見を紹介します。

- \*身近な地域社会を子どもたちが学ぶ授業で活用を検討していきたい。(小学校4年生担当教員)
- \*「かるた」誕生の経緯を含めて、施設職員の研修会に活用したい。(社会福祉法人代表者)
- \*施設利用者とボランティアのふれあい交流の機会に活用したい。(福祉施設職員)
- \*外部講師依頼中心の定例会を今後は、会員相互の交流に活かしたい。(さわやかクラブ代表)

焼津福祉文化共創研究会事務局日誌拝見(10/12~11/09)

- 10/12 10月(第67回)定例研究会開催
- 10/16 かるた活用事例集に関するマスコミへの情報提供(静岡市内にて)
- 10/16 焼津福祉文化共創研究会通信第63号編集作業
- 10/17 10月(第67回)定例研究会議事録作成、ブログアップ依頼
- 10/18 中部地区身体障害者女性部研修会にて、本会の活動紹介
- 10/28 島田市内のサロン訪問(考える会が提供したかるたについて説明)
- 11/01 焼津福祉文化共創研究会通信第63号発行・配布・メール送信作業
- 11/09 11月(第68回)定例研究会開催 第7回共創社会実現研究会開催



研究会QRコード



考える会QRコード



シリーズ⑦ 若者発 ご近所福祉かるたで学ぶ

このコーナーでは、平成27年度・令和3年度に、協働団体:静岡福祉文化を考える会が、赤い羽根共同募金地域福祉広域助成事業により、世代を超えて身近な地域社会を学ぶ、地域福祉教育教材として作成した「若者発 ご近所福祉かるた」を本誌第57号から「シリーズ」で紹介。今回は「し」「す」

「絵札」は、漫画家 法月理栄様が作画。

\*かるた等の問い合わせは、事務局まで



し  
お隣り家族  
お向かいさん  
知ってますか?  
し

大災害で実証されたように、「隣人」は頼りになります。普段から「隣組」との関わりをもったお付き合いを心掛けましょう。



す  
住みやすい  
まちはみんな  
創るもの  
す

リーダー(町内会長・民生委員等)にだけおまかせでは、本当の地域づくりではありません。住民参画で「地域づくり」をしよう。。